

1. 総評

(1) 年度初めの学校の状況 【学校の現状及び前年度の成果と課題】

<学校の現状>

- ・「あいさつ・返事・靴そろえ」を基本方針として示し、当たり前のことを当たり前実践できる児童の育成を目指す。
- ・素直で元気、真面目に努力する子が多い。学校行事やスポーツ大会など明確な目標に対して一生懸命努力する。高学年児童を中心に主体的に活動する姿も見られるようになった。
- ・経験の少ない教師が過半数を占める中、指導力向上は引き続き重要な課題である。若手教員のみならず他区から本区へ異動してきた教員の指導力不足にも課題がある。校内の研修や授業観察・指導、学力定着推進委員や教科専門員の先生方の丁寧な指導を受けて、徐々に指導力が高まって来たものの引き続き課題である。
- ・PTA、保護者や地域の方々は、学校の教育活動に理解を示され、大変協力的である。

<前年度の成果と課題>

○学力の向上

- ・授業規律が確立し、集中して学習に取り組める児童が増えた。学力の向上は十分とは言えず、これを安定・定着させるためにさらに充実した指導が必要である。

○幼保小中連携

幼保小の連携においては、谷在家保育園との連携を進めた。小中連携においては、加賀中学校、皿沼小学校とのブロックで連携を深めた。

○心の教育の推進

- ・6年主導の「朝のあいさつ運動」は、大きな成果をあげ、全校児童のあいさつへの意識の高まりを感じる。今後さらに日常的な道徳的判断力と実践力に結び付けていくことが課題である。

(2) 今年度の重点目標とそれに向けた取組の概要**重点的な取組事項－1 授業力の向上並びに学力の向上**

～4月の区学力調査問題の各学年の通過率80%を目指す。～

- ・授業規律を定着させるとともに、学習環境を整え、授業に集中できるようにする。
- ・基礎的基本的な学習内容の定着が図れるよう、授業及び家庭学習の充実を図る。
- ・学力調査の結果について詳細を分析し、つまずきのある児童に対しての個別の指導を充実させる。

重点的な取組事項－2 幼保小中の連携

～連携の推進と円滑な接続とともに欠落のない接続を目指す。～

- ・幼保小の連携は、谷在家保育園、沼田保育園両園と連携を進めていく。
- ・小中の連携は、通常級は西新井中、西新井第一小、西新井第二小と、特別支援学級は鹿浜菜の花中学校と連携を行う。鹿浜菜の花中学校とは進学児童の実態も加味し、年2回の交流を行なう。
- ・教員の交流だけでなく、園児と児童、児童と生徒との交流などを実施する。

重点的な取組事項－3 心の教育の推進

～自他を尊重する気持ちと態度の育成～

- ・「あいさつ・返事・靴そろえ」といった集団生活・社会生活を円滑に営む上での基礎的・基本的なことが、きちんと当たり前に行える児童を育成する。
- ・日常の道徳の授業及び道徳的指導の充実を図るために校内での研修を充実させる。
- ・交流活動の充実を図る。
- ・伝統文化や地域や社会とのつながり、環境を大切に活動を進める。

(3) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性**重点的な取組事項－1 授業力の向上並びに学力の向上**

○パワーアップタイムの充実

- ・朝昼2回の実施を引き続き行ないつつ、実態を考慮した内容を系統的に実施する。(朝8時20分から40分、昼13時20分から35分) パワーアップタイムの内、朝の時間は読書的な活動に全校で取り組み、理解力、活用力、表現力の向上を図る。特に朝の読書は1時間目の導入がスムーズになり成果が見られた。昼のパワーアップタイムにおいて、課題分析に基づく系統的な学習課題を段階的に実施し、評価・改善していく必要がある。

○放課後補充指導、補習指導の充実

- ・「東京ベシックドリル」「習熟度プリント」などを教材として活用するとともに、学力調査の結果について詳細を分析し、つまずきのある児童に対しての個別の指導を充実させた。他の学校行事との兼ね合いで実施できない時もあったことが課題である。行事予定及び校内時程の見直しをし、改善を図る。

○プレジデントタイムの実施

・夏季休業中の補充教室からの取り出し指導及び昼休み（13時10分から25分）の指導に管理職が関わり、基礎学力の向上を図る。主に2、3年生を対象に実施したが、他の学年の児童をどのように取り込んでいくかが課題である。次年度は放課後補習の時間も活用し改善を図る。

○教員の授業力向上に関する取り組み

- ・校内の若手教員研修会を立ち上げ、計画的に実施運営し、若手教員の育成に力を入れる。（年間30回実施）
- ・毎週の学習計画を確認し、管理職が定期的に授業観察を行い、授業力向上に働きかける。授業観察後は「アドバイスシート（別紙資料）」を渡し、校長が指導助言を行うとともに、授業力向上へとつなげた。

重点的な取組事項－2 幼保小中の連携

○連携の推進と円滑な接続を目指す。

- ・幼保小の連携は、谷在家保育園と沼田保育園との連携を行う。また小中の連携は、通常級は西新井中学校、西新井第一小、西新井第二小と、特別支援学級は鹿浜菜の花中学校と連携を行う。教員の交流だけでなく、園児と児童、児童と生徒との交流などを計画的に実施することができた。特に保育園との連携においては、校長が両保育園に出向き、次年度、1年生に入学する園児の保護者向けに子育て講演会を行う。（谷在家＝1月17日、沼田＝3月の予定）次年度は、さらに連携を充実したものにしていく。
- ・次年度も引き続き西新井中学校、西新井第一小、二小のブロックに属し、研究を進めていく。また進学児童の実態も加味し、鹿浜菜の花中との連携の機会も設ける。

重点的な取組事項－3 心の教育の推進

○「あいさつ、返事、靴そろえ」

- ・あいさつに関しては、6年のみならず3～5年生、児童会も交え、活性化を図ることができた。特に今年度は、一度立ち止まって挨拶をする「ワンストップ挨拶」を児童に呼び掛け、成果を挙げた。しかしまだ十分とは言えず、今後も継続した指導が必要である。
- ・教室では、学習ルールの基本として「はい。立つ。～です。」を共通し、各学級で実践してきた。その結果、丁寧な言葉遣いを意識できる児童は増えてきたものの、十分定着しているとは言い難い。継続した指導が必要である。
- ・靴そろえに関しては、各担任も目を配るとともに、各学級で係児童も管理する等、すすんで実践する姿が見られた。今後も継続していく。
- ・授業観察時に道徳の授業を行うよう働きかけることや、年間40号発行した「校長室便り（校長から職員に向けた情報紙）」で道徳について扱うことを通して、教員の道徳教育に関する意識に変容が見られた。
- ・道徳授業地区公開講座講演会において、通年でご指導をいただいている道徳の講師に来ていただき、保護者、地域の方々向けに、講演会を行う。模擬授業を行い、実際の道徳の授業がどのようなものなのかを体感していただく。またその講演会の中で、道徳の教科化についても触れ、浸透を図る。
- ・なかよし学級と通常学級との交流活動、他校の特別支援学級との交流行事を行う。
- ・校内俳句コンクールを2回実施し、毎回、校長賞、副校長賞、鹿一小を選出する。
- ・地域の昔遊びや伝統文化に関する授業を行う。
- ・4年生は社会科のごみの行方の学習を通して、プロネイチャリストを学校に招き、環境教育に関する理解を深めた。また5年生は、鋸南自然教室において、海浜清掃やエコプロジェクトの参加を通して、環境教育に関する理解と関心を深めた。

(4) 保護者や地域へのメッセージ

○登校時の「あいさつ運動」には、PTA会長を始め、各学年のPTAの皆様にも積極的にご協力いただきました。子供たちのマナー向上だけでなく、安心・安全な学校づくりにも効果的な取り組みとして、大きな成果を挙げています。（特に本校のPTA会長は、季節や行事に合わせて、時に様々な装いで校門に立ち、子供たちを笑顔にしてくださいます。毎日、お仕事がある中での活動に大変感謝致します。）

○谷在家、押部町会の交通安全運動、PTA「鹿一村祭り」など、子供たちのために様々な活動を行ってくださり、いつも大変感謝しております。谷在家町会では今年度、校庭の4箇所にも鳥の巣箱を設置してくださいました。校長から児童に伝える前に、子供たちから関心を持ち、毎日、巣箱の様子を観察している子がたくさんいます。

○運動会や展覧会、音楽・学芸的発表会、持久走大会などにも、大変多くの方の参観をいただき、感謝申し上げます。学校公開や授業参観に関しても、積極的にご参加いただき、ありがとうございます。子供たちの日常の様子についても、より多くの方にご覧いただきたいと思っております。

○学校の様々な活動の様子について発信しているホームページとブログは、1月10日現在47949アクセスを記録しました。宿泊行事の際などには、1日に400から500のアクセスがあり、日頃より多くの方々に応援していただいていることにも大変感謝致します。今後も積極的な情報発信を行い、学校からの情報が保護者や地域にとってより身近なものとしていくよう努力してまいります。

2. 平成29年度の重点的な取組事項

<達成度 ◎:十分に達成 ○:おおむね達成 △:達成せず ●:課題が残る>

重点的な取組事項－1 学力向上

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
足立区学力調査結果の通過率を高める	80%	79.8% ※実際には4月の結果で評価 86.8% *1月再調査	評価、改善しつつ、方策を明確にし、今後も継続して取り組み、安定した学力定着を図る。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
パワーアップタイムの充実	・年間計画に基づいて、学年で意図的計画的な指導の実施、年間100回以上	・学力調査分析を基に学年全体の課題となる内容を吟味し、段階的に定着を図っていく。	・4月～5月に課題分析を行い、パワーアップタイムの指導に生かした。 ・今年度より読書活動を取り入れた。	・次年度以降パワーアップタイムの時間に、表現活動も盛り込んでいく。	○
放課後補充指導・補習指導の充実	・45分×年間100回以上	・「東京ベーシックドリル」「習熟度プリント」などを教材として活用する。 ・全校体制で指導に取り組む。	・夏季休業中も補習を行い、どの学年も100回以上実施する。 ・補充補習以外に、宿題忘れの児童の学習の機会としても活用した。	・「東京ベーシックドリル」を年間を見通して効果的に活用していくとともに、今後学校独自のテキストや内容を開発していく。	○
プレジデントタイムの実施	・2年の児童の基礎計算の定着に課題がある対象に指導を行う。(年間100回以上)	・毎日、昼休み中に校長を中心に指導する。 ・夏季休業中も実施する。(2, 3年生)	・ほぼ毎日実施。校長不在時、副校長も指導に参加する。夏季休業中は3年児童への指導にもあたる。	・今後もさらに、意図的計画的に実施していきたい。	◎

重点的な取組事項－2 幼保小中の連携

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
連携の推進を通して、円滑な接続とともに、欠落のない接続を目指す。(平成31年度からの連携も視野に入れて進めていく。)	・1月の調査で、100%の教員から連携事業へのよさを認める回答。	・年を重ねる毎に、教員が連携の必要性を感じ、昨年度よりさらに一歩連携が進んだことが感じられる。特に今年度は、前年度までのブロックでの研修内容を、新たなブロックに還元できたことが成果の一つである。	・幼保小及び小中の連携活動は、昨年度に比べ計画的に実施することができ、授業研究を深めることができた。授業力を向上視点からの連携をさらに深めていきたい。	◎

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
中学校教員との交流	<ul style="list-style-type: none"> 小中交流会、準備委員会を各6回の実施 校長間の連絡を密にする。(年度当初、年度末に各1回、他6回) 	<ul style="list-style-type: none"> 連携事業6回。各教科の研究授業実施、各校1回ずつ。 指導案を2週間前に送付し事前指導を受ける。 次回の授業の指導案を持ち寄り、検討会を行う。本時の指導に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> さらに、連携を深めていく。 	◎
保育士や学童指導員との交流	<ul style="list-style-type: none"> 全教員による保育園見学会の実施 年間3回以上の保育園児と低学年の交流事業 保育園の保護者会参加 	<ul style="list-style-type: none"> 全教員による見学会実施。 授業体験、公開授業、図書室見学、給食体験、体育的行事、展覧会等への招待。 谷在家保育園、沼田保育園での校長の保護者説明会参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定通り実施することができた。 従来交流に加えて、今年度より体育的行事への招待を行い、効果的であった。保育園児が小学校の校庭や体育に親しむ機会が生まれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 就学前の情報交換をさらに密に行うようにしていく。 	○
教員と児童、生徒との交流	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業：3回以上 夏季補習：10日間 授業体験：1回 説明会：1回 あいさつ運動実施 	<ul style="list-style-type: none"> 出前授業：英語等 夏季補充教室：指名補習 部活動、授業体験 中学校説明会：生徒会が来校 中学生とのあいさつ運動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の出前授業については計画通り実施することができ、交流を深めることができた。学校を訪問しての授業参加は、予定が合わずに実施できなかった。 あいさつ運動は実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も同様に交流を展開していく。 	△

重点的な取組事項－3 心の教育の推進

今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自他を尊重する気持ちと態度の育成 <ul style="list-style-type: none"> 思いやりの心 規範意識 礼儀 	児童アンケート結果の向上 80%以上	児童アンケート結果の向上 <ul style="list-style-type: none"> 思いやりの心 94% 規範意識 93% 礼儀 86% 	児童の自主的な活動を重視し、「あいさつ、返事、靴そろえ」をスローガンに指導をし、自己肯定感の育成を意識して教育活動を行ってきた。家庭との連携を図りながらさらに、意識的に教育活動する必要がある。	○

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
気持ちのよい挨拶の推進	児童アンケートで、あいさつ・言葉遣いに関する項目	<ul style="list-style-type: none"> 6年生を中心とした挨拶運動を毎年実施する。 学校便り、保護者会、 	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート結果 思いやりの心94% 規範意識 93% 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の中での挨拶は活性化したが、地域の中で、自 	△

目標実現に向けた取組み	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
	80%以上 ・学校関係者評価で、あいさつ思いやりに関する項目80%以上	ホームページで保護者地域に啓発活動を行う。 ・PTA、地域と連携したあいさつ運動の実施	礼儀 86% ・PTA、地域と連携した挨拶運動の実施	分からずすんでとなる課題が見られる。今後さらに家庭・地域と連携し啓発していく。	
交流活動の充実	・なかよし学級と普通学級の交流活動を実施する。 ・高野小特別支援学級と交流活動を年2回実施する。	・なかよし学級の児童と普通学級で授業や行事で交流を行う。 ・高野小学校と連携し、スポーツ、歌、ゲーム活動の交流を行う。	・なかよし学級の児童と普通学級で授業や行事で交流を実施した。 ・高野小学校と連携し交流を行う活動を計画的に実施することができた。	・交流の仕方について工夫して、心と心の交流を目指す。	○
伝統文化を大切にす活動の推進	・俳句コンクールに投稿 ・校内俳句コンクール年間2回実施	・一茶まつりなどの俳句コンクールに積極的に投稿する。 ・各学級で計画的に句会を実施する。	・予定通り実施。	・次年度は、さらに本校の特色になるよう取り組んでいく。	◎
地域や社会とのつながりや環境を大切にす活動の推進	・各学年において環境教育を実施(各1回以上) ・児童会等で環境活動を実施(1回以上) ・地域や社会に貢献する活動実施(3回)	・各学年における環境教育に関する学習内容を明らかにして、意識的に環境教育を実施する。 ・代表委員会、環境委員会等での環境活動を実施する ・社会貢献活動を実施する	・予定通り実施することができた。環境委員会による環境活動を実施した。 ・鋸南自然教室では、沖ノ島でのビーチコーミングを通して環境に関する意識を高めた。	・昨年度より、児童の自主的な活動になり、地域や社会とのつながりについて意識する教育活動になった。	○

3. 学校活動全般について

<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学力向上の取組として、全教員で授業力向上に取り組んできた。年間30回の若手教員研修会やミドルリーダー(中堅教員)研修会も実施し、組織としての教師集団の力を高めることをめざした。また今年度から朝のパワーアップタイム(読書)に加え、昼にもパワーアップタイム(基礎学力)を増設し、放課後補習や夏季休業中の補習、プレジデントタイムも充実させた。しかし、その中でもまだつまずきが解消されていない児童も見られる。今後もさらに、授業力向上や補習補充に力を入れていく。一方、体力向上の取り組みとし、業間の持久走やなわとびタイムにも取り組んできた。今後は体育授業や業間遊びを計画的・効果的に活用しつつ、投力や瞬発力、柔軟性を含め、バランスのとれた体力向上をめざしていきたい。 ・4年～6年の有志児童で構成されている「鹿一金管バンド」は、全校の1割以上の児童が参加し、年間を通して朝練習を行い、鹿浜地区合同音楽会や足立区研究演奏会で迫力ある素晴らしい発表をすることができた。また、男女ミニバスケットボールやサッカー大会、将棋大会、百人一首大会、環境かるた大会など、有志児童が積極的に校外での行事に参加し、意欲的な姿が見られた。 ・学校・家庭・地域のボランティアの方との連携で、「野菜くずリサイクル活動」を行い、持続可能な社会づくりへの取り組みをすることができた。これは本校の特色の一つであり、他校や他の地域に誇れる取り組みだと考えている。 ・学校の様々な活動の様子について発信しているホームページとブログは、1月10日現在47949アクセスを記録し、目標である4万アクセスを突破した。今後も積極的に情報発信を行い、学校からの情報が保護者や地域にとってより身近なものとしていく。
